

震災編

在宅避難? 避難所生活? それとも...? イメージできていますか? あなたの避難生活

横浜市では震度5強以上の地震が発生すると、区内35か所の避難所(地域防災拠点)が開設されます。皆さんは避難所がどんな場所かご存じでしょうか? 必ずやってくる大地震に備えて、避難所のことや、避難の種類について知っておきましょう。



避難所の現実

すごい人数...

新型コロナウイルスへの警戒が続く中、大地震のときの避難所では、「密閉・密集・密接」の3条件がそろいやすく、小規模の集団感染が発生する懸念があります。

● 備蓄食料は?
 水は1人あたり700ml
 食料はクラッカーが1袋とパン2つ

● トイレは?
 仮設トイレは避難所に2~5個設置
 臭いや汚れが気になる

● 居住スペースは?
 1人分は約2㎡ (畳1畳より少し広いくらい)
 冷暖房はないことが多い
 明かりも1人ひとりの手元を照らせるほどはない

在宅避難への
ご協力をお願いします。

避難とは「難を避けること」です。難を避けるため、密を避けるため、在宅避難など、安全が確保できる選択肢を多く持てるように、日ごろから備えておくことが大切です。

感染症の心配もあるし、震災時も家で過ごしたいね。

とりあえず避難所に行けば水や食料が揃って、快適に過ごせるのかと... 思っていた...

自宅はどうか? 在宅避難できるかな?

チェック① OK! 飛散防止フィルム

チェック② OK! 家具転倒防止器具

チェック③ OK! 電池式ランタン (電池は大丈夫?)

チェック④ OK! 感震ブレーカー

チェック⑤ OK! ラジオ

家の中は大丈夫そう!!

★感染症拡大防止のためにも、マスクや体温計を忘れずに。



困ったときは避難所に行ってみよう!

あなたの避難所は、どこかわかりますか?

避難所へ行くにはどの道を通ればよいでしょうか? 避難経路を確認しておきましょう。「防災・区民マップ」や「わいわい防災マップ」を活用ください。

在宅避難をしている人たちにしてもさまざまなサポートを行います

みなさんに心配をかけないためにも私たちが無事なことを伝えよう。

家で暮らせない人の生活の場になる!

自宅や親戚の家などでの生活が難しい場合は、迷わず避難所へ。いざというときの避難所生活に備えて、非常用持出し品の中に自分の必需品を用意しておきましょう。

在宅避難している人も救援物資をもらうことができます!

自宅で生活していることを伝え、自宅の物資がなくなった場合は、避難所でもらうことができます。

いざという時に、自分や家族の安全を確保する選択肢の1つとして、「親戚・友人宅への避難」も検討してみてください。避難行動を想像し、家の中の危険箇所の確認・備蓄準備や、友人・親戚に連絡をしてみるなど、今からできる備えはたくさんあります。

私は友人の家に避難させてもらったわ。日ごろから関係が作れて良かった。

発災時の情報収集の方法は他にもあります。裏面を確認してください!

情報が集まってくる!

ライフラインやボランティア、安否情報などさまざまな情報は避難所に集まります。自分の安否を伝えるとともに、自宅で避難生活をしている人も正しい情報を入力しましょう。

薬を用意してきてよかった。

何か手伝えることがありますか?

ありがとう!

お手伝いも大事!

避難所は地域で運営しています。皆さんも「お客様」ではなく「運営者」です! 避難所のお手伝いをお願いします。

でも... こんなことを聞いたことがあるけど... 熊本地震のライフライン復旧まで

ガス	水道	下水道	電気
約16日	約32日	約61日	約6日

ライフラインはいつ復旧するのかな...?

食べものは3日分しかないよ?

水・食料は3食・3日分用意しているわ!

ガスボンベとカセットコンロで温かいものが食べられるね!

レトルトのカレーたくさん買っておいしかったわ。

薬など自分に必要なものを多めに備蓄しているよ!

これなら自宅でも過ごせそうね!

困るのはトイレだね。